



# 自芯

7月号  
令和元年6月28日

## 自分にぴったりの高校はありません…

高校の紹介パンフレット、オープンスクールの案内がどんどん届いています。オープンスクール参加の申し込みを提出する人も増えてきました。また、期末テストも返却されて、やる気が増した人、不安が増した人、教室の様子もいろいろです。

### 4907 この数字は何だと思いますか？

この数字は、全国の国公立及び私立の高等学校の数です(文部科学省 平成30年度統計)。もちろん、高等学校以外にも高等専門学校や専修学校もあるので、進学を希望する多くの皆さんは約5000校の中から、1つだけの自分の進学先を決定することになります。

もちろん、5000校全部が選択肢に入るわけではなく、男子校、女子校の別や通学可能かどうかなどの条件によって、候補は50校ほどになるのではないのでしょうか。さらに、その中からいくつかの条件で絞り込むと、実際には10校くらいから選択することになるでしょう。つまり、たくさんあるようにみえて、選択肢はそんなに多くないということです。

### 以上のような状況の中で、みなさんのやるべきことは2つです。

一つは、仮に選択肢が10校あったとしても、当然、入試を突破する実力をつけないと10校の選択肢は減っていきます。これからの努力は、自分の選択肢を増やすための努力ともいえるでしょう。

もう一つは、10校の選択肢から自分の意志で学校を絞り込む作業です。そのために、オープンスクールなどを活用し、自分で学校の方針や雰囲気を知る必要があります。気をつけてほしいのは、オーダーメイドの高校はないということです。全国で5000校くらいしかないのですから、仮に誰かにぴったりな学校だと5000人だけしかぴたりきません。つまり、学校が自分にあわせてくれるのではなく、自分が学校にあわせる必要もあります。したがって、オープンスクールでは「何か違うなあ」を探すのではなく、「こんなことができそうだ！」を探してきてください。

## いよいよ総体です！

本日、朝の時間を利用して三田市総体の壮行会がありました。

各部の部長がしっかりと意気込みを語りました。あらためて最後の大会をむかえることになったんだなと感慨深いものがありました。

明日からの大会、挑む姿勢に悔いなく全力を尽くしてほしいと思います。全力を尽くすということは、簡単なことではありません。なぜなら、全力を試されるのは、ピンチや時には負けそうな時です。強い相手に挑まないといけない時です。圧倒されていることが恥ずかしかったり、自分自身の力のなさが嫌になったりします。そんな時に、どのような姿をみせるのか。そこにこだわってほしいのです。

努力をしているから強い相手の努力を尊敬できる。努力してきたから、敗者の努力を認め、大切にできる。試合は相手がいないとできません。相手のこれまでの努力を想像し、勝っても負けてもすがすがしく堂々と最後まで挑んでほしいのです。

3年生はどこかで引退します。引退の瞬間を美しく…。それが願いです。



## 7月のおもな予定

5日(金)	専門委員会
8日(月)	朝礼
9日(火)	租税教室
11日(木)～17日(火)	個人懇談
13日(土)～14日(日)	丹有総体
18日(木)	大掃除 給食最終日
19日(金)	終業式